2017年1月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

2016年上半期 アルバイト・パート募集時平均時給調査レポート

■ 調査概要

本レポートは、月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について2016年上半期(4月～9月)の調査結果をまとめたレポートとなります。

当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給の集計しております。

＜集計対象媒体について＞

『TOWNWORK』　:「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など勤務地を重視する読者へ向けた無料の仕事情報誌。全国で展開。

『TOWNWORK社員』　:「地元で社員になりたい」など勤務地と雇用形態を重視する読者へ向けた無料の仕事情報誌。全国で展開。

『fromA navi』　:アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北、北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。

■ 目次

1、調査概要・目次

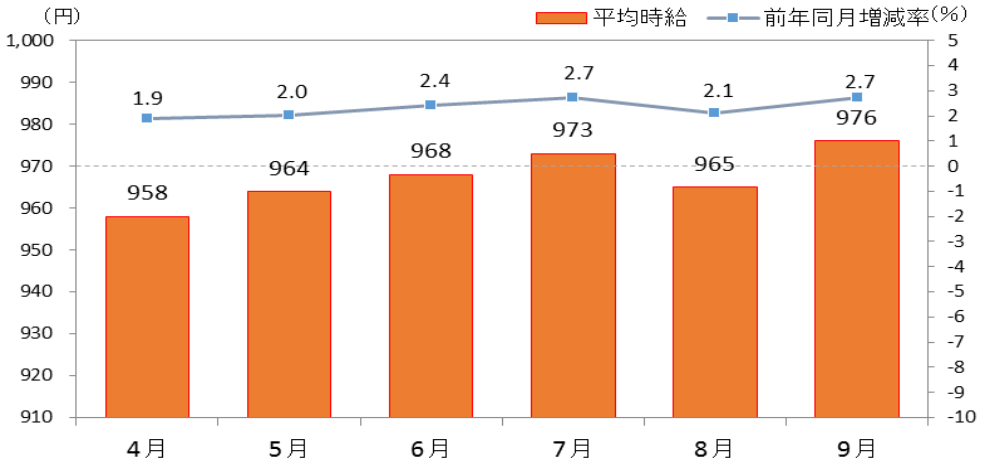
2、職種賃金推移

3、短時間勤務案件との関係性分析

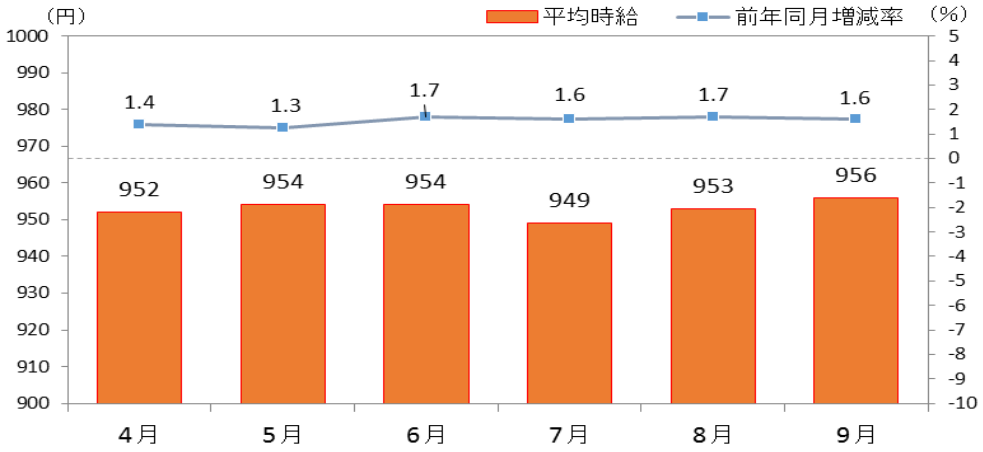
職種賃金推移－職種別①－

三大都市圏における各職種ごとの2016年4-9月の月別推移は以下になります。
各職種季節傾向による時給額自体の増減はありますが、慢性的な人手不足の影響を受け、
全職種において前年伸び率は上昇傾向が続いています。

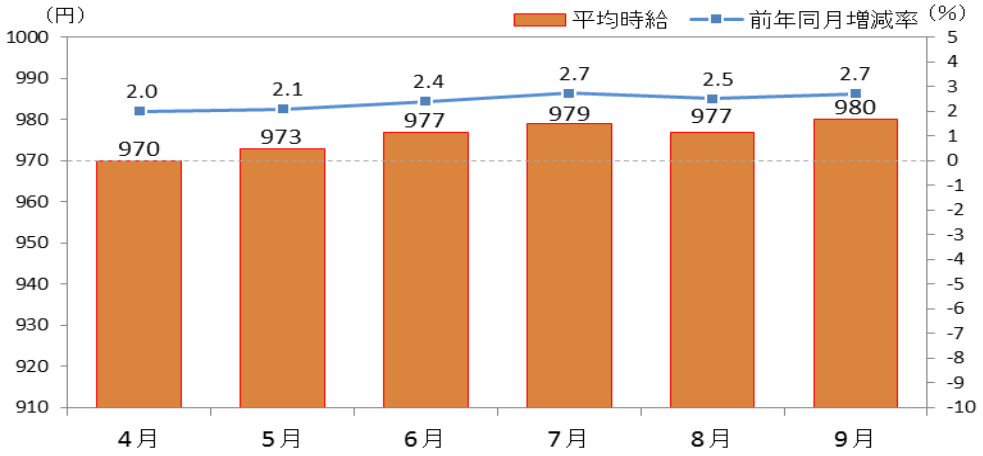
（1）販売・サービス系



（2）フード系

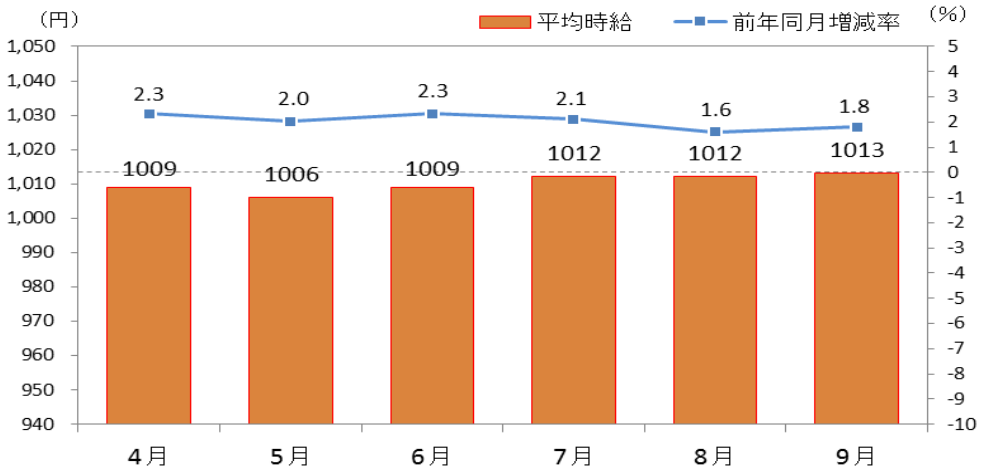


(３)製造・物流・清掃系

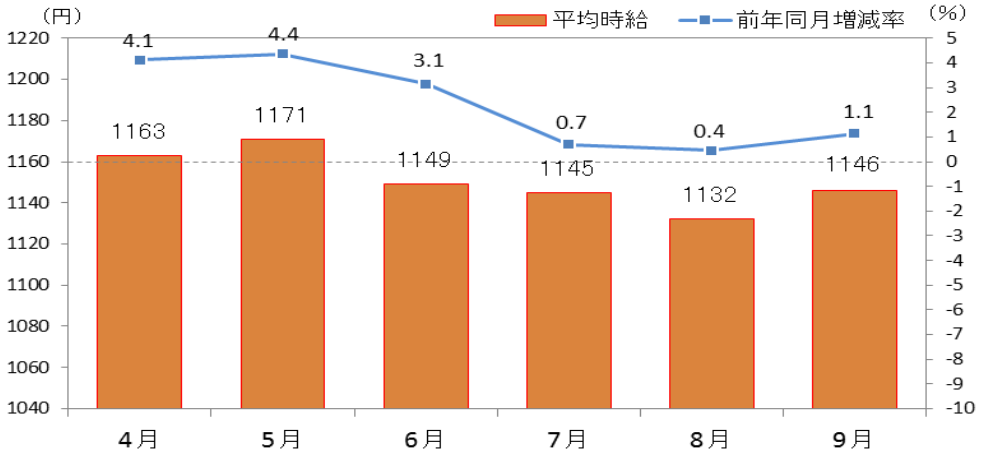


職種賃金推移－職種別②－

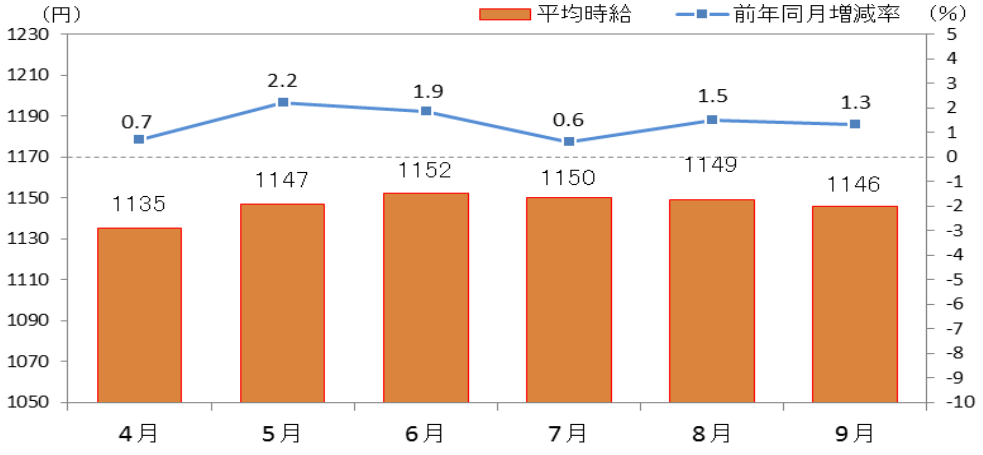
（４）事務系



（5）営業職系



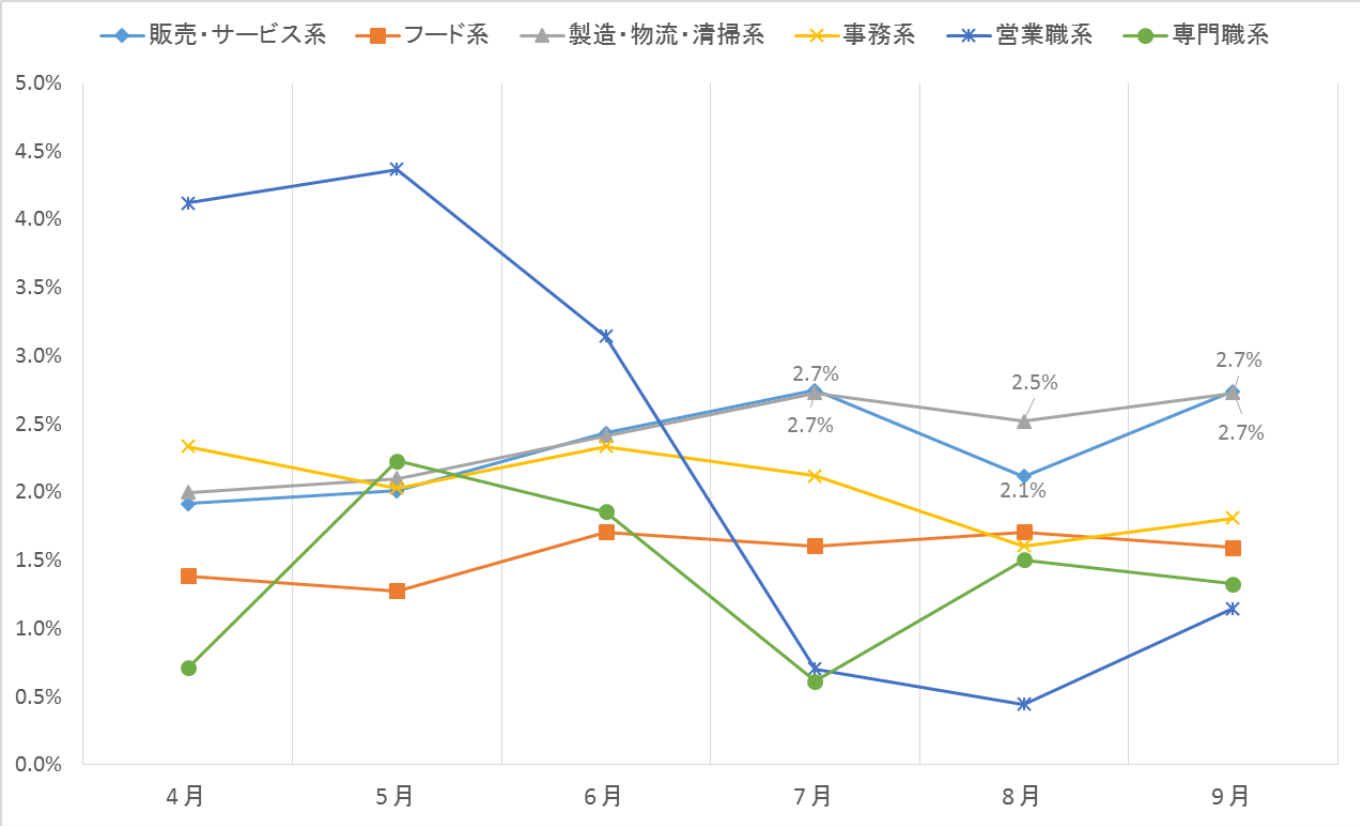
(６)専門職系



職種賃金推移―平均時給前年伸び率職種比較―

三大都市圏における各職種の平均時給前年伸び率グラフは以下になります。
前項で記載した通り、全職種において前年伸び率は増加傾向にありますが、特に7-9月において、「販売・サービス系」「製造・物流・清掃系」において、増加傾向が強まっていることがわかります。

独立行政法人 労働政策研究・研修機構の「人材（人手）不足の現状等に関する調査（企業調査）及び 働き方のあり方等に関する調査（労働者調査）結果 」によると、人手（人員）が不足していると回答した企業を対象に、職種内容を尋ねると、「非正社員」においては、「製造・生産工程職」が最も高く、次いで、「サービス職（その他）」や「サービス職（飲食関係）」が続いているという結果が出ており、人手不足の結果、平均時給上昇が進んでいるという結果が推察されます。

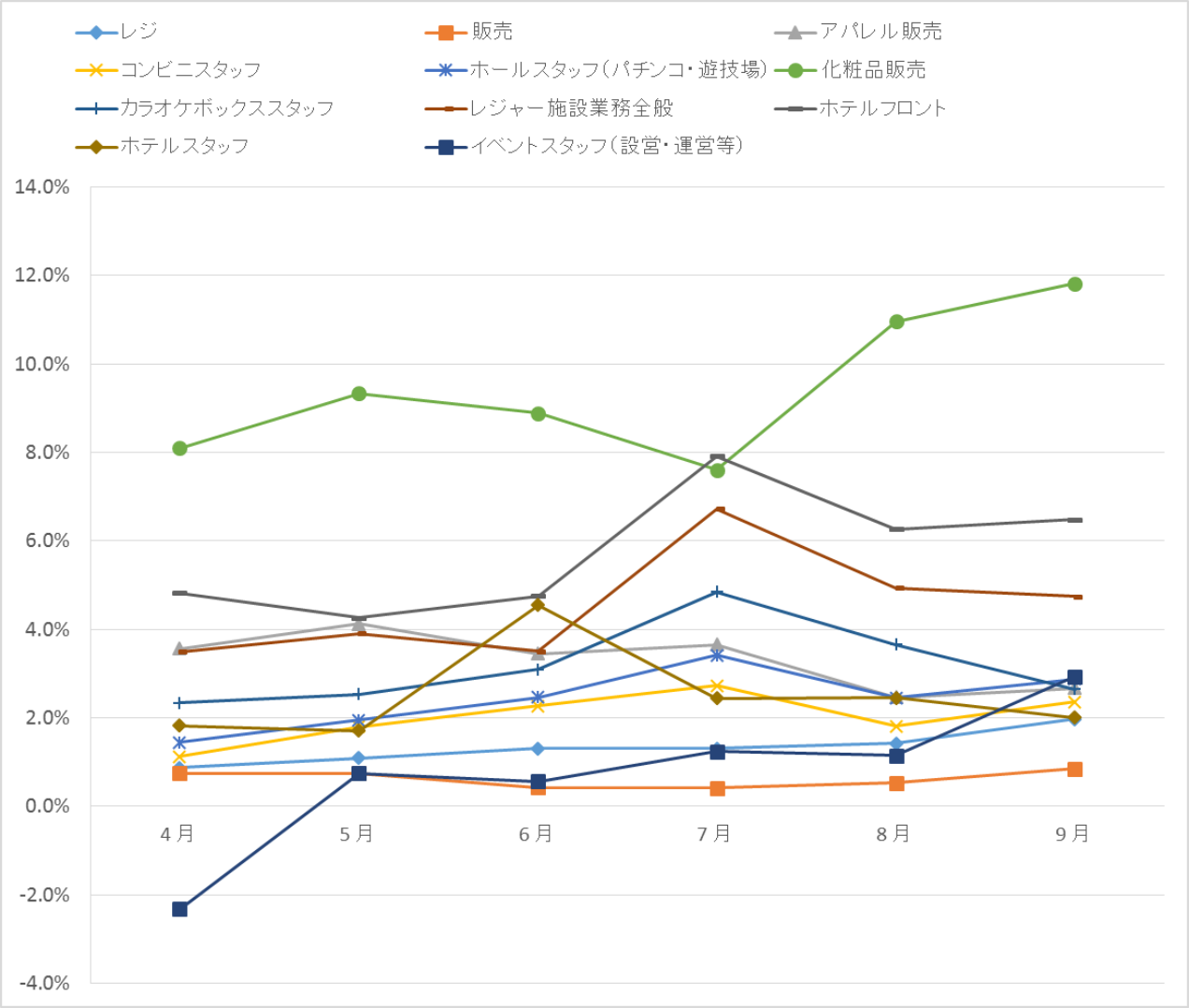


（前年伸び率：%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売・サービス系	1.9%	2.0%	2.4%	2.7%	2.1%	2.7%
フード系	1.4%	1.3%	1.7%	1.6%	1.7%	1.6%
製造・物流・清掃系	2.0%	2.1%	2.4%	2.7%	2.5%	2.7%
事務系	2.3%	2.0%	2.3%	2.1%	1.6%	1.8%
営業職系	4.1%	4.4%	3.1%	0.7%	0.4%	1.1%
専門職系	0.7%	2.2%	1.9%	0.6%	1.5%	1.3%

職種賃金推移ー販売・サービス系小分類ー

前項で前年伸び率が高いと説明した「販売・サービス系」についてのより細かな職種単位での平均時給前年伸び率推移のグラフが以下になります。
特に「化粧品販売」は4-9月にかけて7%を超える前年伸び率で推移、また「ホテルフロント」も7-9月では6%を超える前年伸び率で推移しています。
「化粧品販売」については2015年の4月から9月にかけて前年伸び率が0%以下推移を続けていたため、より今期の前年伸び率が高くなっています。



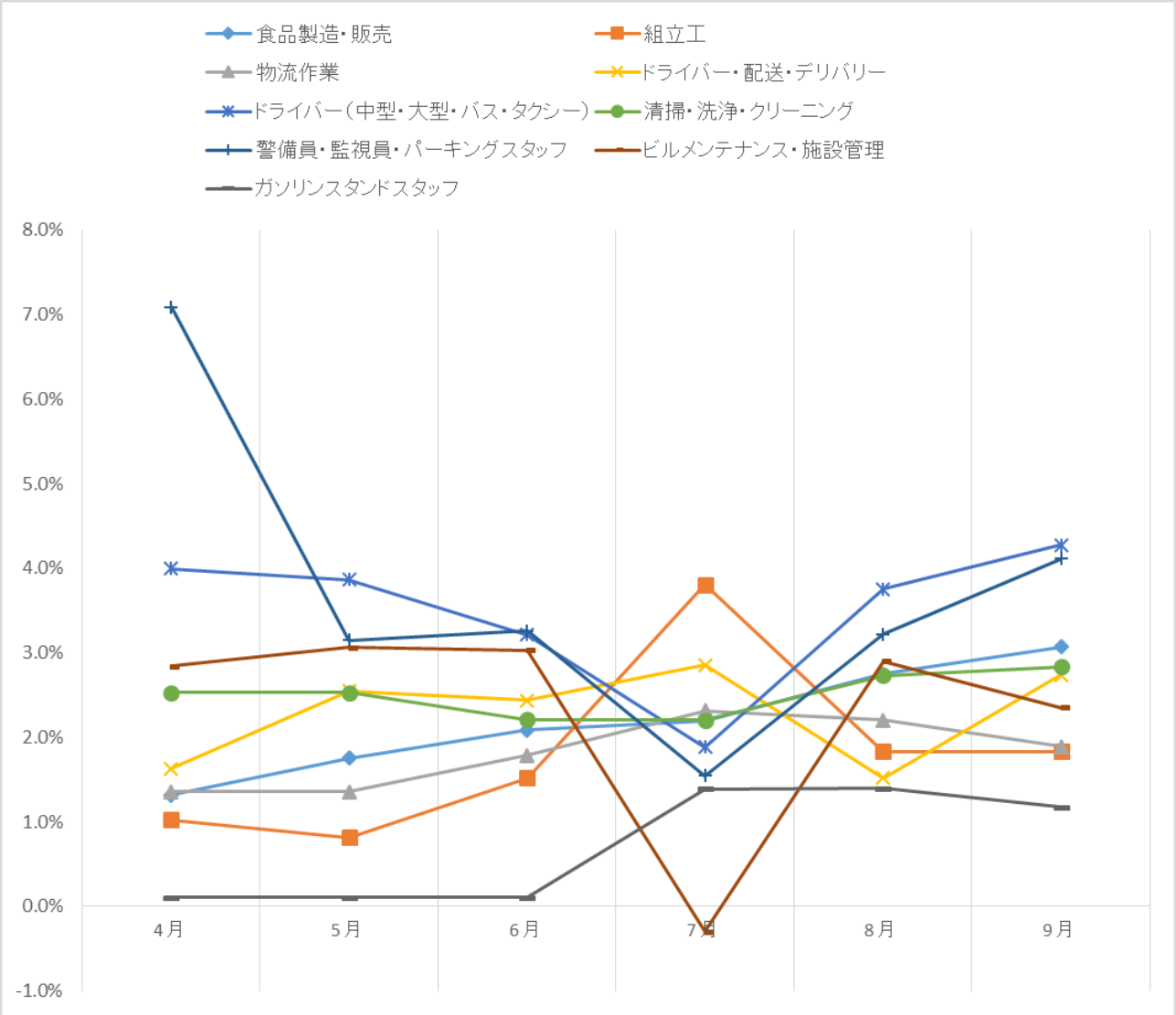
（前年伸び率：%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
レジ	0.9%	1.1%	1.3%	1.3%	1.4%	2.0%
販売	0.7%	0.7%	0.4%	0.4%	0.5%	0.8%
アパレル販売	3.6%	4.1%	3.4%	3.7%	2.5%	2.7%
コンビニスタッフ	1.1%	1.8%	2.3%	2.7%	1.8%	2.4%
ホールスタッフ（パチンコ・遊技場）	1.4%	1.9%	2.5%	3.4%	2.5%	2.9%
化粧品販売	8.1%	9.3%	8.9%	7.6%	11.0%	11.8%
カラオケボックススタッフ	2.3%	2.5%	3.1%	4.8%	3.7%	2.7%
レジャー施設業務全般	3.5%	3.9%	3.5%	6.7%	4.9%	4.7%
ホテルフロント	4.8%	4.3%	4.8%	7.9%	6.3%	6.5%
ホテルスタッフ	1.8%	1.7%	4.6%	2.4%	2.5%	2.0%
イベントスタッフ（設営・運営等）	-2.3%	0.7%	0.6%	1.2%	1.1%	2.9%
販売・サービス系全体	**1.9%**	**2.0%**	**2.4%**	**2.7%**	**2.1%**	**2.7%**

※「販売・サービス系」において掲載件数が多い11職種を抜粋

職種賃金推移―製造・物流・清掃系小分類―

同じく前項で前年伸び率が高い傾向にあると説明した「製造・物流・清掃系」についてのより細かな職種での平均時給前年伸び率推移のグラフが以下になります。
特に「警備員・監視員・パーキングスタッフ」と「ドライバー（中型・大型・バス・タクシー）」は4-9月にかけて7月を除いて3%を超える前年伸び率で推移しています。



（前年伸び率：%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食品製造・販売	1.3%	1.8%	2.1%	2.2%	2.8%	3.1%
組立工	1.0%	0.8%	1.5%	3.8%	1.8%	1.8%
物流作業	1.4%	1.4%	1.8%	2.3%	2.2%	1.9%
ドライバー・配送・デリバリー	1.6%	2.6%	2.4%	2.9%	1.5%	2.7%
ドライバー（中型・大型・バス・タクシー）	4.0%	3.9%	3.2%	1.9%	3.8%	4.3%
清掃・洗浄・クリーニング	2.5%	2.5%	2.2%	2.2%	2.7%	2.8%
警備員・監視員・パーキングスタッフ	7.1%	3.1%	3.3%	1.5%	3.2%	4.1%
ビルメンテナンス・施設管理	2.8%	3.1%	3.0%	-0.3%	2.9%	2.4%
ガソリンスタンドスタッフ	0.1%	0.1%	0.1%	1.4%	1.4%	1.2%
製造・物流・清掃系全体	**2.0%**	**2.1%**	**2.4%**	**2.7%**	**2.5%**	**2.7%**

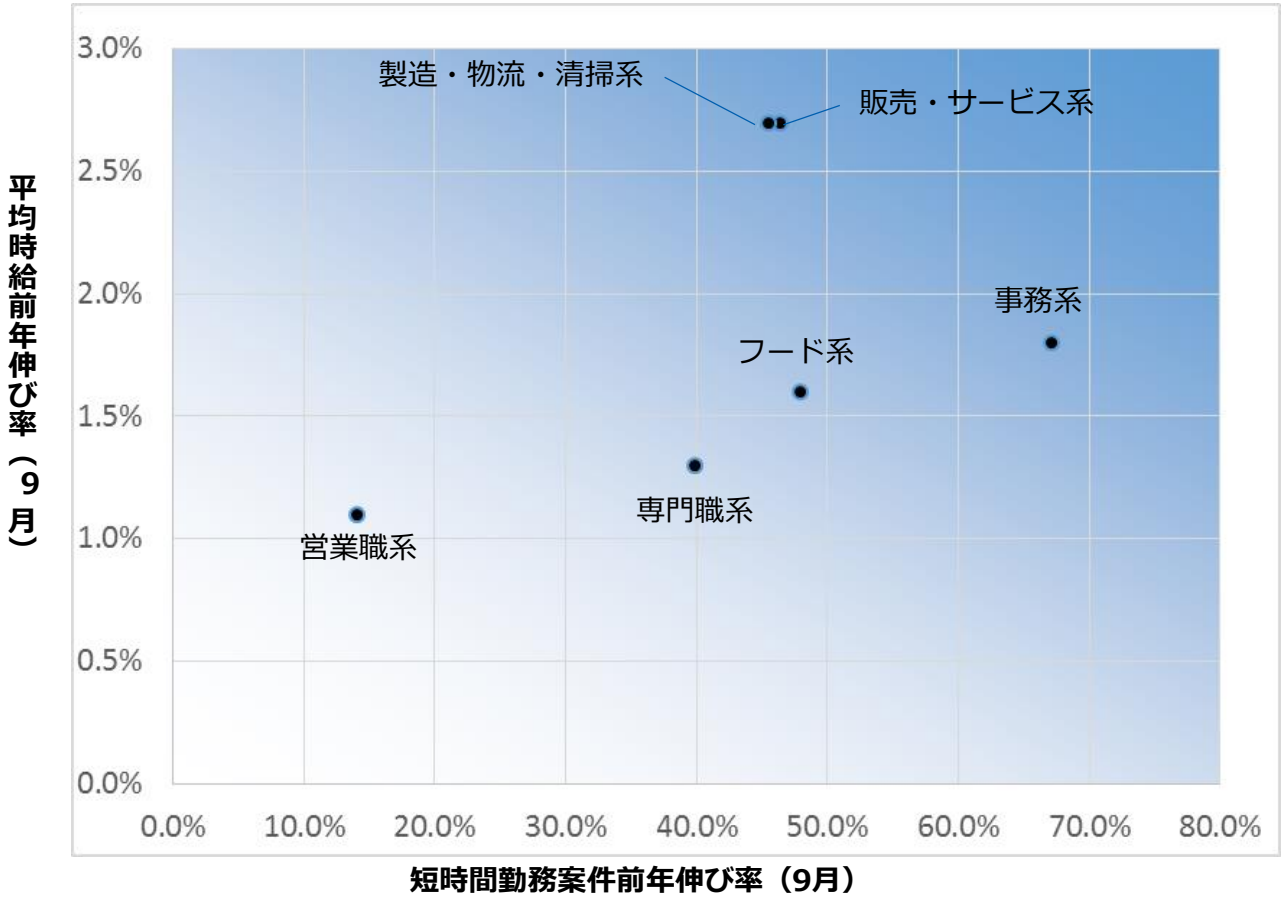
※「製造・物流・清掃系」において掲載件数が多い9職種を抜粋

短時間勤務求人広告件数との関係性分析

人手不足への対策として、賃金の引き上げとともに行われるのが、柔軟な勤務時間の設定です。レポートの最後に柔軟な勤務時間設定の一つである短時間勤務求人広告件数の伸び率と平均時給の伸び率の相関を見てみましょう。

1日の最低勤務時間が「1時間～3時間」の案件数※の前年伸び率（2016年9月）を横軸、平均時給（同年同月）の前年伸び率を縦軸にしたグラフが以下になります。
右上に近づくほど、時給増加、条件緩和両方の打ち手で人員募集を行っていることが言えます。

前項で述べているように、「販売・サービス系」「製造・物流・清掃系」は平均時給の伸び幅が大きく、また短時間勤務の案件数も45%前後と高い伸び率となっています。
一方「事務職系」については、時給の伸び率は上記職種より相対的に低いですが、短時間勤務案件の伸び率は非常に高くなっています。



※株式会社リクルートジョブズが発行するフリーペーパー『TOWNWORK』に掲載されたアルバイト・パート求人データを、テキストマイニングにより分析した結果